

# 迎春



# わだち

公益社団法人  
福島県トラック協会 広報誌

2020年

# 1

vol.468



## 新年のご挨拶

- 15 国交省**
  - \* 整備管理者選任後研修の実施について
- 02 県ト協**
  - \* 年末年始の輸送等に関する安全運動実施について
  - \* 2019年度各種助成事業執行状況
  - \* 運行管理者試験受験対策勉強会のご案内
  - \* 「2019年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内
  - \* 支部における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意
- 11 適正化**
  - \* 各地で事故防止講習会を実施
- 11 支部**
  - \* 相双支部が年末事故防止研修会を開催
- 11 事業所**
  - \* 磐城通運(株)火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞
- 17 お知らせ**
  - \* 風しんから社員を守るため職場の健診を強化しませんか!
- 14 陸災防**
  - \* 荷役災害防止担当者への安全衛生教育講習のご案内

# 県ト協 年末年始の輸送等に関する安全運動実施について

輸送繁忙期にあたる年末年始に輸送に関する事故防止について「年末年始等に関する安全総点検」、「正しい運転・明るい輸送運動」、「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」等を実施します。

本年度の総点検においては①安全管理、②自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保、③テロ防止のための警戒体制の整備状況及び訓練実施状況、④職場における新型インフルエンザ対策の4点に特に留意することが掲げられたことから各事業所においては「運動の進め方」等の実施細目を策定の上確実に実施し、交通公害の防止、輸送秩序の確立等をはかりトラック事業のみならず地域住民救済、社会に貢献されるよう最善の努力をお願いいたします。

運動の詳細は、12月2日付の同内容の文書（先月号わだちに同封）を参照いただき、運動実施結果については“自主点検表（トラック）”により **令和2年1月15日(水)までに必ず報告**願います。

## CONTENTS

新年のご挨拶	公益社団法人福島県トラック協会……………	3	
	公益社団法人福島県トラック協会 会長 右近 八郎……………	4	
	東北運輸局福島運輸支局 支局長 遠嶋 孝則……………	6	
	福島県知事 内堀 雅雄……………	7	
	福島県警察本部 交通部長 齋藤 佳史……………	8	
国 交 省 県 ト 協	整備管理者選任後研修の実施について……………	15	
	年末年始の輸送等に関する安全運動実施について……………	2	
	2019年度各種助成事業執行状況……………	9	
	運行管理者試験受験対策勉強会のご案内……………	10	
	「2019年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内……………	12	
	支部における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意……………	16	
	1月の行事予定……………	18	
	適 正 化 支 部	各地で事故防止講習会を実施……………	11
		相双支部が年末事故防止研修会を開催……………	11
		磐城通運(株)火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞……………	11
事 業 所 協 同 組 合	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報……………	18	
	陸 災 防	荷役災害防止担当者への安全衛生教育講習会のご案内……………	14
		技能講習等実施予定……………	17
お 知 ら せ	本年も東北交通共済をよろしく願います……………	13	
	風しんから社員を守るため職場の健診を強化しませんか！……………	17	
	交通事故統計……………	18	

当協会広報誌「わだち」では会員事業所の皆様に役立つ情報の提供に努める所存ですので、本年もご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

# 謹賀新年

皆様に幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

令和2年 元旦

公益社団法人福島県トラック協会

会長 宍近 八郎 (マクサム通運株)

## 副会長

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 蓬田 隆 信 (福島倉庫株)      | 夏坂 佳 伸 (日本通運株郡山支店) |
| 橋本 一 美 (有)ハシコー梱包運輸) | 菅野 高 志 (有)菅野運送店)   |
| 佐藤 信 成 (丸カ運送株)      | 鈴木 健 仁 (鈴木運輸株)     |

## 理事

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 續橋 英 一 (JAパールライン福島株) | 佐藤 光 俊 (福島運送株)     |
| 吉田 政 俊 (株吉田運輸)       | 鈴木 勝 文 (福島陸運株)     |
| 佐藤 仁 (株丸や運送)         | 永山 忍 (郡山運送株)       |
| 金野 直 輝 (第一貨物株郡山支店)   | 安齋 豪 之 (拓進運輸株)     |
| 國分 一 幸 (株クリーン商会)     | 太田 正 一 (株北海興業)     |
| 蛭田 政 男 (有)だいわ運送)     | 菊池 良 造 (株海老屋運送)    |
| 古川 圭 一 (株郡山南部運輸)     | 細谷 博 之 (会津本郷貨物運送株) |
| 大竹 博 史 (株ユミタ運輸)      | 遠藤 秀 弥 (中村貨物運送株)   |
| 西山 由美子 (株丸東)         | 伊藤 浩 一 (いわきカーゴ株)   |
| 松尾 活 秀 (三つ山運送株)      | 割谷 明 裕 (岡田陸運株)     |
| 鈴木 孝 雄 (磐城通運株)       |                    |

## 専務理事

荒川 孝 一

## 常務理事

穂積 央 男

## 監事

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 宮崎 泰 明 (スナンエクスプレス株) | 大内 孝 浩 (ダイトロージスティックス株) |
| 吉田 健 二 (成田運輸株)      | 林 富士雄 (八島運送株)          |
| 中野 光 (遠野運送株)        |                        |





## 新年のご挨拶

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 右近 八郎



新年おめでとうございます。

2020年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、福島県トラック協会の活動に対しまして、日頃よりご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。福島県トラック協会の会員数は、昨年末の2019年12月で一般会員970社、賛助会員282社、計1,252社となり、2018年12月（計1,234社）に比べ、会員数は18社増（+1.4%）となっており会員増が続いています。会員数の変動からは福島県内の景気動向に関しては、熱狂感は無いもののそれなりの経済活動が持続しているようです。

ここでは、まず最近のトラック業界を取り巻く環境の概況を紹介し、次に日本経済の中でのトラック業界の機能について説明し、最後に今後の日本経済での新しいサービス秩序の構築に向けてトラック業界が担うべき役割について述べさせていただきます。

はじめにここ数年のトラック業界を取り巻く環境の概況を紹介します。2015年に開催された「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会」に端を発し、トラック業界が抱える諸課題の解決へのアプローチが始まり、2017年11月に標準貨物自動車運送約款の一部改正が行われ、さらに一年後の2018年12月には貨物自動車運送事業法の改正が行われました。この運送事業法改正の施行は改正内容に応じて行われて、2019年11月1日にはトラック運送事業者が主役である規制の適正化、遵守事項の明確化が施行されました。標準運賃告示制度については十分な準備が必要なために、その施行は公布日から2年を超えない日ということで今年の年末までに行われることになっています。なお、規制の適正化、遵守事項の明確化以外の改正は2023年度末までの時限措置となっています。これらの動きは国土交通省が主導しているものです。一方、国土交通省の動きと並行して、政府が提唱し厚生労働省が主導している働き方改革が2019年4月1日より順次施行され、トラック業界では5年間の猶予が与えられているものの、この業界での労働時間や労働管理に関する課題解決には一層の時間と努力が必要であることを示しています。働き方改革の流れに沿って、国土交通省では「ホワイト物流」あるいは「ホワイト経営」と銘打った業界改善のための推進活動を進めています。

次にトラック業界の日本経済の中での位置づけについて説明します。我が国のようにポスト工業化社会を迎えている先進国では、一般的な産業分類である第一次産業（農林水産業）、第二次産業（製造業）、第三次産業（サービス業）の中で、第三次産業が中心的な役割を果たす、いわゆるサービス産業化社会と呼ばれる経済構造となります。日本ではサービス産業の比率は現在7割を超えています。日本人はモノづくりが得意であり、地方創生というと「魅力ある財やサービスの創出による集客」が標準モデルのように捉えられがちですが、現実にはサービス産業が主役であり、地域経済の発展にはサービス産業の興隆が欠かせないのです。つまりサービス産業とは価値と市場を繋ぐ産業であり、その基幹（ライフライン）は流通網と通信網です。流通網はリアルチャンネルであり通信網はバーチャルチャンネルであり、それぞれモノと情報の流れに対応しており、トラック業界は

まさにリアルチャンネルを担う主役なのです。

最後に、日本経済の中でこのような位置を占めるトラック業界が、今後とも担うべき役割について述べさせていただきます。前述のトラック業界を取り巻く一連の動きは官主導の業界改善という特性があるものの、長引くデフレとタイトな労働市場の背景からか、トラック運送業界だけでなく荷主業界も参画しさらに製造業界を含めたサプライサイドの総意として大きな経済的な動きとなりつつあります。国内サービス業はこれまで弛まぬ生産性の向上を追求し、諸外国とは比較にならないような高品質で低価格なサービスを提供してきました。その恩恵もあり、将来に備えるという大義から企業も個人も高い貯蓄性向を許され、経済成長としては低いレベルのままにここ数十年が経過しています。先進国としては特異ともいえる高品質で低価格なサービス提供というこれまでの我が国のサービス秩序は、上述の官主導の業界改善が進むことで新たなサービス秩序への転換を迫られることとなります。「デマンドサイド」つまりマーケットは基本的に市場原理で動くものであり、サプライサイドとの葛藤は避けることのできない状況になっています。このように新たなサービス秩序の構築に向けて、トラック業界を主役とする流通機能をけん引役として新しい挑戦が始まっています。このような大局的な使命をご理解いただき、改正された貨物自動車運送事業法の理念を尊重し、荷主先ともども自信をもって市場に訴求できる流通機能を提供できるトラック業界を目指していかなければなりません。

東日本大震災の発生から9年を迎え、2021年度末には復興創生期間が終了する予定です。福島県の農林水産業、製造業はともに復旧半ばではありますが、福島県の将来に向けてサービス産業がけん引力となり、その基幹たるトラック業界が担う責任と期待は非常に大きいものと確信しております。

今後の流通業界の健全な発展のため、本年もトラック業界に対して関係各位の更なるご理解、ご協力をいただきますよう心からお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。





## 「令和2年・新年のご挨拶」

東北運輸局福島運輸支局  
支局長 遠嶋 孝則



新年、明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会 右近会長はじめ会員の皆様方には、日頃から国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故防止や環境対策にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

昨年は10月の台風19号とその後の記録的な大雨により、本県においても甚大な被害が発生しました。被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

この度の災害では、政府として避難所に対し要請を待たずに物資を供給する「プッシュ型支援物資輸送」に取り組みました。貴協会には輸送の対応とともに、県の災害対策本部にリエゾンを派遣されるなど、多大のご協力をいただきました。専門的知見からのオペレーションがあったからこそ物資輸送が円滑に実施できたものと考えており、重ねて御礼申し上げます。

また、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の発生から間もなく9年を迎えようとしております。関係皆様のご尽力により復興に向けた取組は着実に進んでおりますが、一方で福島県においては、今なお4万人を超える方々が県内外での不自由な避難生活を余儀なくされるなど、依然として多くの課題が残っており、真の復興への道のりは未だ半ばにあると言わざるを得ません。こうした中、県内で発生した大量の除染土壌等については、「福島復興支援輸送協同組合」のご努力により、中間貯蔵施設への搬入が計画どおりに進められておりますが、引き続き安全且つ確実な輸送に万全を期し、「福島復興」の加速化に貢献されることを願っております。

最近の県内の景気動向は、台風19号等の影響は徐々に和らいでいるものの、一部に弱い動きがみられることから、回復に向けた動きが足踏み状態にあるとされております。

トラック運送業界においては、取引環境改善のための取組、運転者不足や働き方改革への対応、燃料価格の高止まりなど課題が山積し、依然として厳しい経営環境が続いているところ です。とりわけ、運転者不足が深刻であり、若年運転者の減少、それに伴う運転者の高齢化により、運行管理や健康管理の面において大きな問題となっております。

福島運輸支局といたしましても、運転者不足解消に向け、支局長による高等学校訪問をはじめとした人材の確保・育成に向けた取組を更に推進してまいります。

国土交通省では、取引環境改善とトラックドライバーの長時間労働の抑制を目的として、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を設置し、福島県においても関係皆様のご協力をいただきながら、課題解決に向けた取組を進めております。

また、トラック輸送の生産性の向上と物流の効率化、女性や高齢者等も働きやすい労働環境の実現に取り組む「ホワイト物流推進運動」を展開しており、多くの荷主や物流企業の皆様にご賛同いただくこととしております。併せて、ホワイト経営の取組状況を第三者が評価し公表する制度として、国土交通省が創設した「運転者職場環境良好度認証制度」を活用し、トラック事業者の採用活動と受注の円滑化につなげていきたいと考えております。

更に、一昨年12月に成立した貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律により、「荷主対策の深度化」については昨年7月1日から、「事業規制の適正化」及び「事業者が遵守すべき事項の明確化」については同年11月1日から施行されております。この改正により、トラック運送事業の健全な発達を図るため事業規制の適正化を図るとともに、働き方改革関連法の成立により運転業務にも時間外労働の上限規制が令和6年度から適用されることを踏まえ、運転者不足により物流が滞ることのないよう、長時間労働を是正できる環境の整備に取り組んでまいります。

自動車運送事業にとって、「輸送の安全・安心の確保」は最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが義務付けられています。「福島県事業用自動車安全対策会議」において、「事業用自動車総合安全プラン2020」を踏まえて策定した福島県独自の目標の達成に向け、期間の最終となる本年、関係機関と連携し更に積極的な事故防止対策を進めてまいります。

福島運輸支局といたしましては、地域と利用者ニーズに応えた施策はもとより、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 「夢と希望をつなぐための挑戦」

福島県

知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃から本県の交通行政全般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本県の物流サービスの重要な担い手として、産業活動を支え、県民生活の向上に御尽力いただきますとともに、運送事業を通じた交通安全の推進に積極的に取り組まれており、深く感謝申し上げます。

震災から間もなく9年を迎えようとしております。県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は復興への歩みを着実に進めてまいりました。

避難地域においては、全町避難が続く大熊町の一部地域での避難指示解除や、県内原発の全基廃炉が実現するなど、新たなステージを迎えております。

また、農産物の輸出拡大を始め、日本酒など県産品の国内外での高い評価、若い世代を中心とした移住世帯の増加など、明るい話題も増えてまいりました。

その一方で、今もなお、多くの方々が避難生活を続けておられるほか、各方面で根強く残る風評に加え、少子高齢化等の構造的な要因による急激な人口減少、さらには、台風第19号等の大雨による甚大な被害が発生し、本県は、二重・三重の困難を抱えております。

県といたしましては、引き続き、危機意識とスピード感を持って、これらの重い課題からの復興と人口減少対策を始めとする地方創生に取り組んでまいり決意であります。

まず、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と生業の再生、医療・介護サービス提供体制の構築を始め、廃炉・汚染水対策、鳥獣被害対策など、一人でも多くの方に安心して帰還いただけるよう生活環境の整備を進めてまいります。

また、台風と大雨災害からの復興につきましても、被災箇所への復旧に全力を挙げ、被災された方々が再び前を向いて歩み出せるよう、引き続ききめ細かく対応してまいります。

さらに、浜通りの産業基盤や雇用回復を図るべく進めている国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」の効果を全県に波及させるとともに、農林水産業や商工業などの既存産業についても、人材の確保・育成を始めとした総合的な支援に努めてまいります。

次に、人口減少対策につきましては、子育て世代や若者が安定的に生活できる雇用の場を確保するなど、安心して結婚・出産・子育てができる環境を充実させることが重要です。引き続き、保育の受け皿確保や医療・福祉・介護の人材確保・育成、全国に誇れる健康長寿県を目指す取組を進めていくほか、定住・二地域居住を始め、本県が持つ可能性、魅力、強みをいかした「福島ならではの」地方創生を推進するなど、幅広く取組を展開してまいります。

今年の7月には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。競技会場となる県営あづま球場の改修が終わり、聖火リレーのルートが決定するなど、開催に向けた機運が一層の盛り上がりを見せております。皆様と共に、これまでの御支援に対する感謝の思いと、復興が進んでいる福島の姿と魅力を国内外に広く発信できるよう、関係の方々々と力を合わせて準備を進めてまいります。

また、今年は復興・創生期間の最終年度を迎えます。これからも常に危機意識を持って職務に臨み、県民の皆様、そして国内外の福島に心を寄せてくださる全ての皆様と「共働」しながら、「ふくしまプライド。」を胸に、次の世代に夢と希望をつないでいけるよう全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



## 年頭の御挨拶

福島県警察本部  
交通部長 齋藤 佳史



新年、明けましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様方には、日頃から交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、各事業所における安全運行管理はもとより、当該機関誌「わだち」を通じた交通安全意識の高揚、セーフティチャレンジ事業参加と事故防止コンクール表彰による交通事故防止活動、トラックドライバー・コンテストを通じた実践的な安全運転教育、さらには、東北ハイウェイ・セーフティ作戦による高速道路における交通事故防止活動など協会一丸となって様々な交通安全活動を推進され、県内の交通事故防止に多大な御尽力をいただきました。

特に昨年は、貴協会と福島県薬剤師会が連携し、県内の薬局に勤務する薬剤師や従業員の方が、薬局を訪問した高齢者に対し、貴協会に作成していただいた夜光反射材を配布の上、その場で貼付したり、交通安全チラシを配布し、交通事故防止に関する具体的なアドバイスを実施することで、高齢者の交通事故防止を図るといった新たな事業を展開していただいております。

こうした皆様方の活動のお陰をもちまして、昨年の県内における交通情勢につきましては、発生件数、亡くなられた方、怪我をされた方とも、前年と比べ減少したところであり、改めて感謝を申し上げます。

しかしながら、個々の交通事故に目を向けますと、亡くなられた方の半数以上を高齢者が占め、さらに歩行者や自転車運転者のいわゆる交通弱者と言われる方が、亡くなられた方の半数以上を占めるなど、依然として厳しい交通情勢が続いております。

また、昨年、一般社団法人日本自動車連盟が実施した信号機のない横断歩道における実態調査によれば、本県の信号機のない横断歩道における自動車の停止率は8.7パーセントと、前年の同じ調査と比較すると5.2ポイント上昇したものの、全国平均の17.1パーセントを大きく下回り、前年同様全国ワースト9位という結果であり、本県においては、未だ信号機のない横断歩道における歩行者保護のルールが徹底されていないことが浮き彫りになっております。

県警察では、県民の安全確保に向けた活動を推進するため、「総合的な対策による交通事故の防止」を重点に掲げ、関係機関・団体の皆様方と連携し、横断歩道における歩行者優先、薄暮・夜間における交通事故防止のための夜光反射材の着用促進、交通事故発生時の被害防止・軽減に効果があるシートベルトとチャイルドシートの着用徹底を図るとともに、飲酒運転、横断歩行者妨害、いわゆる「ながら運転」等の悪質・危険運転に対する交通指導取締りを強化し、交通事故による犠牲者の更なる減少を目指して取り組んでいくこととしております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き、交通安全意識の高揚、啓発活動の推進に、より一層の御尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



# 県ト協 2019年度各種助成事業執行状況

2019年度の各種助成事業の2019年12月20日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。  
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。  
 また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

2019年12月20日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	79
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員 50人まで	82
	3 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	16
	4 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員 15名まで	65
	5 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1会員 10名まで	52
	6 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員 15台上限	77
	7 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 簡易型 10,000円 ※( )書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員 15台上限	68
	8 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	37,000円/台	1会員 15台上限	66
	9 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		51
	10 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	取得価格の1/2 100,000円/台上限	1会員 3台上限	93
	11 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許(二種は除く) 75,000円/人上限 大型免許(二種は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限 準中型限定解除 20,000円/人上限	1会員 50万円上限	90
	12 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	車両台数上限	52
	13 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	1事業者 150人上限	58
	14 血圧計	血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限70,000円)	1事業所 2台	86
	15 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、更衣室、トイレ等の増改築の費用の一部に対する助成	工事費の1/2(上限300,000円)	1事業者 1施設	49
交通公害対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー、UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基	45
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	63
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	83
研修調査事業費	19 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		10
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者 1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	78
	21 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	22 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	85
	23 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	47
	24 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	75
	25 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		92
	事業正費化	26 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,500円/人・年 基礎講習 5,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)

注1 「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。  
 注2 本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。  
 注3 「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

# 県ト協 運行管理者試験受験対策勉強会のご案内

2019年度第2回運行管理者試験は、2020年3月1日(日)に実施されます。

今般、当協会の主催により下記のとおり受験対策として2日間の勉強会を開催いたしますので、受験される方、またはこの機会に勉強したい方がおられましたら、ぜひ受講されますようご案内いたします。

**2019年度第1回試験合格率 福島県 33.8% 勉強会参加者 53.6%**  
**前回本勉強会を受講された方は福島県平均より合格率が高い結果が出ています。**  
**尚、近年の出席者の減少等により模擬テストは廃止し、勉強会に組み入れます。**

記

- 1 日 時 2020年2月13日(木)・2月14日(金) 9時～18時(受付8時30分から)
- 2 場 所 県トラック協会・研修センター2F大会議室 (住所：福島市飯坂町平野字若狭小屋32)
- 3 講習内容 関係法令の研修及び受験指導等
- 4 対 象 **福島県トラック協会 会員事業所**
- 5 募集定員 **120名(先着順で受付し、定員になり次第締め切ります)**
- 6 テキスト **(株)輸送文研社発行の「運行管理者国家試験 貨物編 令和2年3月受験対策版」**  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できません。
- 7 受講料 **1人3,000円 (指定の輸送文研社発行テキストをお持ちの方は1,000円)**
- 8 申込み 下記申込書に記入し、FAXまたは郵送にて申込み下さい。  
 (お支払) **受講料は期日までに窓口持参または現金書留にて、福島県トラック協会事務局(福島市)へ納入下さい。期日までに受講料の支払いがない場合は受講できません。**  
**なお、開催日当日の納入も受け付けません。**
- 9 申込期日 2020年1月24日(金)まで  
 ・受講料納入確認後、テキスト等を郵送いたしますので、本勉強会を受講される前に必ず自読してください。また領収書はテキストと同封して送付いたします。  
 ・テキスト発送後のキャンセルは受講料を返金いたしません。
- 10 問合せ先 (公社) 福島県トラック協会適正化事業部 担当：玉川・菅野(陽)・後藤  
 住所：福島県福島市飯坂町平野字若狭小屋32 TEL:024-558-7755 FAX:024-558-7731

## 運行管理者試験受験対策勉強会 受講申込書

- 1 事業所名 (資料送付先住所および電話番号を明記して下さい) ※電話・FAXは日中連絡が取れる番号
  - (1) 事業所名 \_\_\_\_\_
  - (2) 所属支部 (○で囲む) 県北 県中 県南 会津 相双 いわき
  - (3) 郵便番号 \_\_\_\_\_
  - (4) 住 所 \_\_\_\_\_
  - (5) 電話番号 \_\_\_\_\_ FAX番号 \_\_\_\_\_
- 2 受講希望者名 \_\_\_\_\_

※(株)輸送文研社「運行管理者国家試験貨物編令和2年3月受験対策版」を既にお持ちの方はご連絡ください。  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できませんのでご注意ください。

※試験の申込ではありません。試験受験者を対象とした受験対策のための勉強会です。  
 ※当勉強会のご案内については、本広報誌「わだち」掲載前に、全会員事業者様へ一斉FAX及び県ト協ホームページでもご案内し広く周知しております。  
 おかげ様で当勉強会は受験者の皆さまから大変好評を得ており、本広報誌が届く前に募集締め切りとなる場合がございますので、その際にご容赦ください。

## 事業所 磐城通運株式会社火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞

磐城通運株式会社の火力営業所は、全国1,041事業所が参加した交通エコロジー・モビリティ財団（エコモ財団）主催の「2019年度エコドライブ活動コンクール」において、優秀賞を受賞した。



同コンクールは、全国の乗用車・トラック・バス・タクシー等を保有する事業者を対象に、「グリーン経営認証」の認証機関であるエコモ財団が、「エコドライブ普及連絡会」（警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省）及び「エコドライブ普及推進協議会」（運輸関係等16体で構成）の後援を受けて、優れたエコドライブ活動を実践している事業者を表彰する制度。

同社は、他にも参加した2事業所（平支店・湯本支店）が優良賞、3事業所（小名浜支店・植田支店・小名浜製錬営業所）がエコドライブ優良活動認定証を受賞している。

表彰式は11月27日（水）に内幸町ホール（東京）で行われ、優秀賞を受賞した火力営業所の阿部所長にエコモ財団の岩村敬会長から表彰状と楯が授与された。

当日は表彰式のほか、早稲田大学名誉教授の大聖泰弘氏が「自動車の環境・エネルギー技術に関する将来展望」と題して基調講演を行った。

同社は平成17年のグリーン経営認証取得以降、継続してエコドライブ活動等を実践し、環境保全の取り組みを推進している。火力営業所では、月ごとの各ドライバーの燃費目標と実績が一目で分かるようにグラフ化して詰め所に掲示し、全車両に対してスピード管理を徹底することにより、結果として交通事故も減少しており、継続的な教育・指導の実践により燃料使用量削減に努めたことが評価につながった。

なお、同社は環境保全に関する活動に積極的に取り組んだことが評価されて、国土交通省より「平成30年度交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞している。

## 適正化 各地で事故防止講習会を実施



会員事業所の労働災害防止に係る安全意識高揚及び輸送の安全確保を図ることを目的とした、2019年度事故防止講習会が全6会場において下記の日程で開催され、672名が参加した。

講習では働き方改革への対策及び関係法令への対応等について、労働基準監督署、福島県警察高速隊、福島運輸支局の担当官より講話をいただいた。

地区	日程	会場	参加者数	地区	日程	会場	参加者数
県北会場	11月15日（金）	県ト協福島研修センター	100名	会津会場	11月25日（月）	会津方部共同休憩所	68名
いわき会場	11月21日（木）	パレスいわや	130名	県南会場	11月26日（火）	白河の関トラックステーション	110名
相双会場	11月22日（金）	南相馬市労働福祉会館	47名	県中会場	12月2日（月）	ビッグパレットふくしま	217名

### 講習内容

- ①労働災害防止及び働き方改革について **福島労働局 労働基準監督署 担当官**
- ②交通事故と安全対策について **福島県警察高速道路交通警察隊 担当官**
- ③関係法令と交通事故対策 **東北運輸局 福島運輸支局 陸運技術専門官**

## 支部 相双支部が年末事故防止研修会を開催



相双支部（佐藤 信成 支部長）は12月13日（金）に南相馬市「ホテルラフィーフ」において年末事故防止研修会を開催し、会員事業所から47名が参加した。

研修会では4名の講師（①相馬労働基準監督署 齋藤 署長 ②相馬警察署 伊藤交通課長 ③県ト協 右近会長 ④陸災防 五十嵐局長）より、それぞれのテーマで講話が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

【あいさつする佐藤支部長】



県ト協

## 「2019年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内

現在、トラック運送業界においては、トラックドライバー等の人材確保が大きな課題となっており、人材不足対策の一環として、トラック運送事業に対するIT支援を図り、業務の効率化、輸送品質の向上を推進するため、事業者からの導入支援希望が高いIT機器の活用事例等や、IT（ロボット）による未来の物流等に係る標記セミナーを下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、今後のIT活用に関心がある方は、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

- 1 日 時 2020年2月6日(木) 13:30~16:30
- 2 場 所 福島県トラック協会県中研修センター 2F 大研修室  
郡山市喜久田町卸三丁目5
- 3 講 師 **第一部** 近代経営システム研究所 代表 **森高 弘純 氏**  
**第二部** (株)ナブアシスト 営業統括部 ロジスティクス営業部 **吉澤 和顕 氏**
- 4 研修内容 **第一部** (1) トラック事業者のIT活用方法  
(活用のメリット、効果的なシステムの策定)  
(2) 生産性向上に向けたIT機器の紹介  
(3) トラック事業者の情報セキュリティ対策  
**第二部** (1) 点呼ロボットの導入事例と今後の拡張性について
- 5 申込み 下記に記入のうえFAX **(024-558-7731)**にてお申し込みください。  
(2020年1月27日(月)必着)
- 6 募集定員 100名
- 7 問合せ 県ト協業務部 (佐川・遠藤) TEL024-558-7755
- 8 その他 **参加費無料**

### 「2019年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」申込書

- 支部名 \_\_\_\_\_ 支部
- 事業所名 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 営業所)
- 出席者名 \_\_\_\_\_

申込先 ⇒ FAX 024-558-7731

新年あけましておめでとうございます



今年も

# 東北交通共済



をよろしく願いたします

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済（保険）、自賠責共済（保険）、各損保商品の販売及びトラック事故防止事業を運営しております。

自動車保険に思い悩んでいる

## トラック協会会員の皆様全員集合!!

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

フェイス トウ フェイス! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!! 保険設計、何でもご相談を!! 無料で承ります。



### トラック共済の特徴

- 1 トラック共済独自の掛金率。
- 2 台数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- 3 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- 4 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に20%を限度、また大口共済金支払い事故については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- 5 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- 6 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- 7 車両の入替えに車種による制限はございません。
- 8 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金ができます。(過去最高16%)
- 9 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しておりますのでご安心ください。
- 10 損保の代理店業務も行ってまいりますので、3大メガ損保の商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)も取り扱っております。



ご相談はお気軽に福島支部・郡山支部までお寄せください。

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。

**☎ 福島支部** 担当 下田・齋藤

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32 TEL 024-555-0107 FAX 024-555-0108

**☎ 郡山支部** 担当 草野・佐々木

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒963-0547 郡山市喜久田町卸3丁目7-2 TEL 024-953-3420 FAX 024-953-3421

【厚生労働省補助事業】荷役ガイドラインに基づく講習会開催のご案内

# 荷役災害防止担当者への安全衛生教育講習会のご案内

陸上貨物運送事業の労働災害の70%は、トラック荷台等からの墜落・転落等の荷役作業中に発生しています。さらにその70%は荷主等（荷主、配送先、元請事業者等）の事業場で発生しています。

このため、厚生労働省では平成25年3月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（以下、「荷役ガイドライン」といいます。）を策定し、陸運事業者の実施事項、荷主等の実施事項を示し、陸運事業者及び荷主等それぞれに荷役災害防止の担当者を指名するとともに、荷役災害防止に必要な安全衛生教育を実施することと定めています。

本年度は、厚生労働省補助事業として、この荷役ガイドラインに示された荷役災害防止の担当者に対する安全衛生教育を荷役ガイドラインの教育カリキュラムに基づいて下記日程により行います。

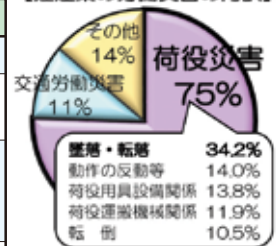
講習会の詳細は、陸災防本部及び陸災防福島県支部のホームページによりご確認ください。

会員事業場の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

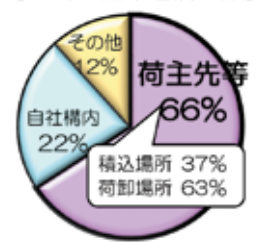
### 【荷役作業安全ガイドラインのポイント】

陸運事業者の実施事項	荷主等の実施事項
① 荷役災害防止担当者の指名と教育	① 荷役災害防止担当者の指名と教育
② 荷役作業従事者、作業指揮者に対する安全衛生教育	② 荷主等の労働者への荷役運搬機械に関する安全衛生教育
③ 荷主等の事業場における荷役作業の有無の確認と適切な対策等	③ 陸運事業者への必要な荷役作業の通知、余裕を持った着時間の設定、作業場所の安全な環境確保、混在作業の調整
④ 荷役作業における労働災害防止措置	④ 荷役作業における労働災害防止対策
⑤ 荷役作業における役割分担の明確化、荷主等との連絡調整	⑤ 荷役作業における役割分担の明確化、配送先における荷卸しの役割分担の明確化、陸運事業者との連絡調整
⑥自動車運転者に荷役作業を行わせる場合の疲労に配慮した運行計画の作成	⑥自動車運転者に荷役作業を行わせる場合の疲労に配慮した着時間の弾力化
⑦陸運事業者間で業務請負等を行う場合の必要な措置(請負事業者)	⑦陸運事業者間で業務請負等を行う場合の必要な措置(元請事業者)
	⑧ 運送発注担当者等への改善基準告示の概要の周知

【陸運業の労働災害の内訳】



【陸運業の荷役災害被災場所】



### ～講習会の主な内容～

- 開催日時 **2020年2月13日(木) 13:00~17:00**
- 開催場所 **福島県トラック協会 県中研修センター**（福島県郡山市喜久田町卸三丁目5）
- 講習会の内容
  - 福島労働局 労働基準部 健康安全課長ご挨拶
  - 荷役災害防止担当者教育(福島労働局担当官/陸災防安全管理士)
  - 質疑応答 (4) アンケート記入
- 定員 **100名(先着順)**
- 参加費及びテキスト代 **無料**
- 参加申込
- 修了証交付 本講習会を受講された方には、修了証を交付します。
- 講習会に関する問合せ先



申込みは、下記参加申込書にご記入し、陸災防福島県支部までファックスでお申込みください。

7 修了証交付 本講習会を受講された方には、修了証を交付します。

8 講習会に関する問合せ先

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福島県支部 TEL:024-558-9011

切り取り不要

陸災防 福島県支部 FAX : 024-559-1161

## 「荷主等の事業場の担当者への安全衛生教育講習会参加申込書

参加者氏名	
事業場名	(業種: )
住所 電話番号 ご担当者氏名	〒 - TEL ( ) - ご担当者

参加申込書にご記入いただいた情報は、本説明会以外は使用いたしません。





# 国交省

# 整備管理者選任後研修の実施について

## 2019年度整備管理者選任後研修実施要領(貨物)

### 1. 研修日時

	開催月日(曜日)	時間	会場	対象地域
1	2020年1月31日(金)	(受付9:00~) 9:30~12:00	いわき	いわき市(勿来町、錦町、三沢町、川部町、植田町、常磐、岩間町、中岡町、佐糖町、東田町、遠野町、三和町、中部工業団地、渡辺町、南台、山田町、中央台飯野、葉山、金山町、鹿島町)
2	2020年1月31日(金)	(受付13:00~) 13:30~16:00	いわき	いわき市(泉玉露、泉町)
3	2020年2月 6日(木)	(受付13:00~) 13:30~16:00	白河	白河市、東白川郡、西白河郡
4	2020年2月 7日(金)	(受付9:00~) 9:30~12:00	いわき	いわき市(好間工業団地、好間町、内郷、四倉町、小川町、久之浜町)、双葉郡
5	2020年2月 7日(金)	(受付13:00~) 13:30~16:00	いわき	いわき市(平、小名浜、永崎、中之作、江名)
6	2020年2月10日(月)	(受付9:00~) 9:30~12:00	福島	福島市、相馬郡
7	2020年2月10日(月)	(受付13:00~) 13:30~16:00	福島	伊達市、伊達郡、相馬市、南相馬市
8	2020年2月18日(火)	(受付9:00~) 9:30~12:00	会津	会津若松市
9	2020年2月18日(火)	(受付13:00~) 13:30~16:00	会津	大沼郡、河沼郡、耶麻郡、喜多方市、南会津郡
10	2020年2月26日(水)	(受付9:00~) 9:30~12:00	郡山	郡山市(喜久田町、田村町、日和田町)
11	2020年2月26日(水)	(受付13:00~) 13:30~16:00	郡山	須賀川市、岩瀬郡、石川郡
12	2020年2月28日(金)	(受付9:00~) 9:30~12:00	郡山	郡山市(2/26対象地区以外)、安達郡
13	2020年2月28日(金)	(受付13:00~) 13:30~16:00	郡山	二本松市、本宮市、田村市、田村郡

- ※1. **申し込みは不要**ですが、会場の定員に限りがあり、参加者の集中・定員超過を避けるため**地区ごとに研修日時を定めています**ので、**必ず定められた日時、会場で受講**してください。
2. **各会場において満員となったときは、受講できないことがございます**のでご注意ください。
3. 整備管理の補助者及び令和元年度選任前研修を受講された方は受講の対象外です。
4. 会場駐車場の混雑を避けるため、午後の研修を受講する方は13時以降に駐車してください。

#### 郡山の研修会場

(公社) 福島県トラック協会県中研修センター 研修ホール(郡山市喜久田町卸3-5)

#### 福島の研修会場

(公社) 福島県トラック協会 大研修室(福島市飯坂町平野字若狭小屋32)

#### いわきの研修会場

(公社) 福島県トラック協会いわき支部 研修室(いわき市小名浜島字館下19-1)

#### 会津の研修会場

(公社) 福島県トラック協会会津支部 会津方部共同休憩所(会津若松市町北町大字始見島80-2)

#### 白河の研修会場

(公社) 福島県トラック協会会津支部 白河の関ステーション(西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針15-1)

### 2. 研修内容

- (1) 整備管理業務に係る関係法令等について
- (2) 整備管理業務に係る実務等について
- (3) その他

#### \* 福島県トラック協会からのお知らせ

- 福島県トラック協会発行の整備管理者手帳をお持ちの方は、研修当日ご持参ください。

# 県ト協 支部における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意

標記の件につきまして、支部において1月、2月の受診は、カウンセリングを2月末まで終了した場合は助成対象となります。3月以降終了する場合は助成の対象となりませんのでご注意ください。

助成金の交付を希望し、カウンセリングが3月以降になるときは、あらためて4月以降に初任・適齢診断の申し込みを支部にされますようお願いいたします。

また、適性診断受診票の利用は2月末までとなり、3月は利用できませんのでご注意ください。

**※ 3月は受診票の利用が出来ません**



初任診断・適齢診断は、2月末までに診断並びにカウンセリングを受けた方のみ助成対象となりますのでご注意ください。

## 会員だより

### 新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県北	(株)三栄運輸福島営業所	三田春樹	960-0408	伊達市岡沼73-1	5
いわき	いわきエコ・パルプ(株)	櫻 真一	974-8242	いわき市南台4丁目3番6号	3

### 退会会員事業所

支部	店・社名	支部	店・社名
県南	蛭間運送(株)福島営業所	いわき	七浜運輸(株)

### 会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
P35 ↓ P26	磐梯貨物(株)白河営業所	事業所名	磐梯貨物(株)郡山営業所	磐梯貨物(株)白河営業所
		代表者 (支店・営業所代表者)	金田 昇	猪狩圭二
		住所	963-0547 郡山市喜久田町卸3丁目2-2	961-0025 白河市夏梨5番地7
58	ヤマト運輸(株)いわき平センター	事業所名	ヤマト運輸(株)いわき平支店	ヤマト運輸(株)いわき平センター
		代表者 (支店・営業所代表者)	大平真司	高橋 静

# お知らせ 風しんから社員を守るため職場の健診を強化しませんか!

## 【会員事業所の「健診」ご担当者さまへ】

厚生労働省では、昨今、感染拡大が続く風しんへの対策として、市区町村が、免疫を持っていない可能性が高い40～57歳（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性を対象に、無料で「抗体検査」と「予防接種」を受けられるクーポン券を配布しています。この制度は2022年3月末までの期間限定です。

風しんから社員を守ることは、社会を守ることに繋がります。ぜひ、職場の健診の際に社員がクーポン券を利用して抗体検査を受けられるようにご協力をお願いします。抗体検査の結果、十分な量の抗体がなく、風しんの定期接種の対象となる場合は、予防接種を受けるよう呼びかけをお願いします。また、抗体検査や予防接種のために医療機関を受診しやすいよう、配慮をお願いします。

### #止めるぞ\_風しん

**対象：1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様**  
・無料抗体検査クーポンが届きましたら、健康診断の機会などで、**抗体検査**をお願いします



あなたが  
風しんに



あなたが  
苦しい  
だけでなく



風しん  
拡散



妊婦さん  
感染



赤ちゃんが  
障がいをもって  
生まれる可能性が  
あります

**One for all.**  
ひとりみんなのために、みんなはひとりのために  
**all for one**


トライなんてさせない  
タックルで止める

**感染なんてさせない  
ワクチンで止める**





1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様



### あなたが風しんの感染を拡大させてしまう 可能性があります

**1** お手元に届くクーポン券\*により、健康診断の機会やお近くの医療機関で抗体検査を受けましょう。

**2** 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、**予防接種を受けましょう。**  
対象者は**風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料\***となります。

2019年度は、1972(昭和47)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性に市区町村がクーポン券を送付します。なお、2019年度にクーポン券が送付されない・届いていない対象者に市区町村に希望すればクーポン券を発行し、抗体検査を受けられます。\*子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう。

**Q:なぜ風しんへの抵抗力が必要な?**

**A**・成人は小児に比べて症状が重くなる可能性があります。

**Q:風しんに感染すると何が問題なの?**

**A**・電車や職場などが集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。  
 ・妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。

**抗体検査**  
 職場での健康診断や近隣の病院・診療所で受けられます。\*  
クーポン券を使えば抗体検査は無料となります。

**抗体あり**  
 ・風しんへの抵抗力があります。

**抗体なし**  
 ・風しんへの抵抗力がありません。  
 ・風しんにかかりリスクがあります。

**予防接種を受けましょう**  
原則無料となります。\*




**風しんとは**

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱や髄炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

**先天性風しん症候群とは**

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

©2019年4月以降、複数クーポン券が贈る予定ですが、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。

# 陸 災 防 技能講習等実施予定

### 【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講習開催日		
		実	技	
郡山① いわき①	2月	21(金)	1: 4(火)～6(木) 2: 12(水)～14(金)	3: 18(火)～20(木)
		28(金)	1: 12(水)～14(金) 2: 18(火)～20(木)	3: 25(火)～27(木)

### 【ショベルローダー等運転技能講習】

学科 開催地	講習開催日		
	学科	実	技
いわき①	3/13(金)	いわき	1: 2/18(火)～2/20(木) 2: 2/25(火)～2/27(木)

### 【はい作業主任者技能講習】

開催地	講習開催日	
いわき	2月	4(火) 5(水)

### 【荷役災害防止担当者安全衛生教育講習】

開催地	講習開催日
郡山	2月 13(木)

### 【安全衛生推進者養成講習】

開催地	講習開催日	
郡山	2月	4(火) 5(水)





# 1月の行事予定



日程	行 事 内 容	開 催 場 所
14日(火)	安全性優良事業所 (Gマーク) 認定証授与式	福島市「福島研修センター」
16日(木)	福島県トラック協会 第5回理事会	いわき市「小名浜オーシャンホテル」
23日(木)	小学生向け物流交流授業	福島市「福島市立森合小学校」

## 協同組合 2019年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物 (求車)・車両 (求荷) の情報登録・成約件数

※表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年同期合計	増 減
荷物(求車)登録件数	1,053件	709件	474件	620件	862件	759件	739件	721件					5,937件	6,888件	- 951件
荷物(求車)成約件数	110件	113件	104件	110件	117件	105件	128件	144件					931件	1,062件	- 131件
成約率	10.4%	15.9%	21.9%	17.7%	13.6%	13.8%	17.3%	20.0%					15.7%	15.4%	0.3ポイント
車両(求荷)登録件数	375件	355件	403件	354件	345件	333件	363件	448件					2,976件	2,676件	+ 300件
車両(求荷)成約件数	266件	223件	234件	210件	221件	234件	224件	298件					1,910件	1,728件	+ 182件
成約率	70.9%	62.8%	58.1%	59.3%	64.1%	70.3%	61.7%	66.5%					64.2%	64.6%	- 0.4ポイント

## お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2018年に比べ2019年では発生件数 (-18)、死者数 (0)、傷者数 (-25) となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

### 第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況 (11月末)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	2018年 に比べて の増減数	12月	年間合計
2018年 (概数)	発生件数	5	9	11	5	8	3	8	11	7	10	4	81			8
	死者数										1		1	1		2
	傷者数	5	11	17	6	10	3	10	18	7	15	4	106	11		117
2019年 (概数)	発生件数	11	3	7	4	4	8	7	3	4	5	7	63	- 18		
	死者数											1	1	0		
	傷者数	12	4	8	4	4	12	15	4	5	6	7	81	- 25		



トラック広報 わだち1月号 (通巻468号)

2020年1月1日発行 (毎月1回1日)  
 編集発行 公益社団法人福島県トラック協会  
 〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
 TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
 H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

